

八千代市印旛沼流域関連公共下水道事業変更計画書

流域関連公共下水道管理者	八千代市
工事着手の年月日	昭和 47 年 7 月 17 日
工事完成の予定年月日	令和 7 年 3 月 31 日 令和 14 年 3 月 31 日

第1表の1

変更前  
変更後

予定処理区域及び流域下水道との接続箇所調書(汚水)					
予定処理区域の面積	約2,116ヘクタール	予定処理区域内の地名	千葉県八千代市「区域は下水道計画一般図表示のとおり」		
処理分区の名称	面積 (単位:ヘクタール)	流域下水道との接続箇所の番号	流域下水道との接続箇所の位置	接続する流域下水道の幹線名	摘要 (Q:時間最大汚水量)
江東 処理分区	444	18	八千代市 勝田 字根崎	印旛沼流域 下水道 東部幹線	計画下水量 0.304 Q= 0.285 m <sup>3</sup> /秒 予定水質 BOD= 191 mg/l 148 SS= 145 mg/l
上高野 処理分区	70	301	八千代市 下高野 字高野橋	印旛沼流域 下水道 手繰幹線	計画下水量 0.048 Q= 0.037 m <sup>3</sup> /秒 予定水質 BOD= 193 mg/l 191 148 SS= 147 mg/l
北部 処理分区	124	410	八千代市 島田 字草刈道	印旛沼流域 下水道 西部幹線	計画下水量 0.045 Q= 0.040 m <sup>3</sup> /秒 予定水質 BOD= 193 mg/l 191 148 SS= 147 mg/l
萱田 処理分区	310	411	八千代市 萱田 字谷津	印旛沼流域 下水道 西部幹線	計画下水量 0.236 Q= 0.218 m <sup>3</sup> /秒 予定水質 BOD= 191 mg/l 148 SS= 145 mg/l
萱田町 処理分区	36	412-2	八千代市 大和田 字表口	印旛沼流域 下水道 西部幹線	計画下水量 0.027 Q= 0.025 m <sup>3</sup> /秒 予定水質 BOD= 193 mg/l 191 148 SS= 147 mg/l

変更前  
変更後

処理分区の名称	面積 (単位：ヘクタール)	流域下水道との 接続箇所の番号	流域下水道との 接続箇所の位置	接続する流域 下水道の幹線名	摘 要 (Q: 時間最大汚水量)
八千代 処理分区	755	412	八千代市 大和田 字台田	印旛沼流域 下水道 西部幹線	計画下水量 0.569 Q= 0.518 m <sup>3</sup> /秒 予定水質 191 BOD= 193 mg/l 148 SS= 147 mg/l
鷹の台 処理分区	1	413	千葉市 花見川区 横戸町	印旛沼流域 下水道 西部幹線	計画下水量 Q= 0.001 m <sup>3</sup> /秒 予定水質 191 BOD= 193 mg/l 148 SS= 147 mg/l
石神 処理分区	142	602-3	八千代市 桑橋 字池ノ下	印旛沼流域 下水道 桑納幹線	計画下水量 0.038 Q= 0.069 m <sup>3</sup> /秒 予定水質 191 BOD= 193 mg/l 148 SS= 146 mg/l
吉橋 処理分区	190 189	603	八千代市 尾崎 字尾崎	印旛沼流域 下水道 桑納幹線	計画下水量 0.127 Q= 0.107 m <sup>3</sup> /秒 予定水質 176 BOD= 180 mg/l 142 SS= 137 mg/l
佐山 処理分区	45	505-2	八千代市 佐山 字神崎	印旛沼流域 下水道 印西幹線	計画下水量 0.011 Q= 0.008 m <sup>3</sup> /秒 予定水質 191 BOD= 193 mg/l 148 SS= 147 mg/l

第1表の2

変更前  
変更後

予 定 排 水 区 域 及 び 放 流 箇 所 調 書 (雨水)					
予 定 排 水 区 域 の 面 積	約 1,931ヘクタール	予 定 排 水 区 域 内 の 地 名	千葉県八千代市 「区域は下水道計画一般図のとおり」		
排 水 区 の 名 称	面 積 (単位：ヘクタール)	放 流 箇 所 の 番 号	放 流 箇 所 の 地 名	放 流 先 の 名 称	摘 要
八千代排水区	744	No. 1	八千代市 村上堂 字五百堂	印旛放水路 (花見川)	
萱田南第1排水区	47	No. 34	八千代市 村上堂 字五百堂	印旛放水路 (花見川)	
		No. 34-1	八千代市 村上地 字向地	印旛放水路 (新川)	
萱田南第2排水区	17	No. 58	八千代市 萱田町 字中島	印旛放水路 (新川)	
萱田南第3排水区	26	No. 57	八千代市 萱田町 字中台下	印旛放水路 (新川)	
萱田排水区	61	No. 56	八千代市 萱田 字牛喰下	印旛放水路 (新川)	
須久茂排水区	198	No. 67	八千代市 萱田 字根田下	印旛放水路 (新川)	
黒沢排水区	176	No. 36	八千代市 村上 字内出前	印旛放水路 (新川)	
米本排水区	59	No. 63	八千代市 米本 字亀井戸	米本排水路 (調整池)	
保品排水区	73	No. 72	八千代市 保品 字栗谷	保品排水路 (調整池)	
勝田排水区	42	No. 37	八千代市 勝田台南 3丁目	勝田川	
		No. 38	八千代市 勝田 字五百堂	勝田川	
		No. 39	八千代市 勝田 字根崎	勝田川	
		No. 39-1	八千代市 勝田 字根崎	勝田川	

変更前  
変更後

排水区の名称	面積 (単位：ヘクタール)	放流箇所 の番号	放流箇所 の地名	放流先の名称	摘要
勝田台排水区	120	No. 61	佐倉市 上志津原 字幸野	勝田川 (調整池)	
佐山排水区	45	No. 71	八千代市 大塚町 六丁目	佐山排水路 (調整池)	
花輪排水区	87	No. 66	八千代市 吉橋 字花輪	花輪川	
村上排水区	95	No. 35	八千代市 村上 字下相女	相女排水路	
石神第1排水区	72	No. 68	八千代市 緑が丘西 七丁目	石神川 防災調節池	
石神第2排水区	29	No. 69	八千代市 緑が丘西 七丁目	石神川 防災調節池	
石神第3排水区	40	No. 70	八千代市 緑が丘西 五丁目	桑納川	

第2表

変更前  
変更後

計 画 降 雨 調 書			
処理区の名称	計 画 降 雨		摘 要
	一時間当たりの降雨量 (単位 ミリメートル)	確率年	
—	—	—	今後策定予定

第3表

変更前  
変更後

吐 口 調 書							
排水区の名称	主要な吐口の種類	主要な吐口の番号	主要な吐口的位置	計画放流量 (m <sup>3</sup> /s)	放流先の名称	放流先の水位	摘要
八千代排水区	分流式 雨水管渠	No. 1	八千代市 村上堂 字五百堂	72.160m <sup>3</sup> /秒	印旛放水路 (花見川)		
萱田南第1排水区	分流式 雨水管渠	No. 34	八千代市 村上堂 字五百堂	3.436m <sup>3</sup> /秒	印旛放水路 (花見川)		
		No. 34-1	八千代市 村上地 字向地	0.761m <sup>3</sup> /秒	印旛放水路 (新川)		
萱田南第2排水区	分流式 雨水管渠	No. 58	八千代市 萱田町 字中島	1.839m <sup>3</sup> /秒	印旛放水路 (新川)		
萱田南第3排水区	分流式 雨水管渠	No. 57	八千代市 萱田町 字中台下	2.934m <sup>3</sup> /秒	印旛放水路 (新川)		
萱田排水区	分流式 雨水管渠	No. 56	八千代市 萱田下 字牛喰下	7.963m <sup>3</sup> /秒	印旛放水路 (新川)		
須久茂排水区	分流式 雨水管渠	No. 67	八千代市 萱田下 字根田下	23.828m <sup>3</sup> /秒	印旛放水路 (新川)		動作確認を1 年に1回以上
黒沢排水区	分流式 雨水管渠	No. 36	八千代市 村上前 字内出前	14.633m <sup>3</sup> /秒	印旛放水路 (新川)		
米本排水区	分流式 雨水管渠	No. 63	八千代市 米本戸 字亀井戸	9.154m <sup>3</sup> /秒	米本排水路 (調整池)		
保品排水区	分流式 雨水管渠	No. 72	八千代市 保品谷 字栗谷	8.370m <sup>3</sup> /秒	保品排水路 (調整池)		

吐 口 調 書							
排水区 の 名 称	主 要 な 吐 口 の 種 類	主 要 な 吐 口 の 番 号	主 要 な 吐 口 の 位 置	計 画 放 流 量 ( $m^3/s$ )	放 流 先 の 名 称	放 流 先 の 水 位	摘 要
勝 田 排 水 区	分 流 式 雨 水 管 渠	No. 37	八 千 代 市 勝 田 南 3 丁 目	1.475 $m^3$ /秒	勝 田 川		
		No. 38	八 千 代 市 勝 田 五 字 百 堂	2.747 $m^3$ /秒	勝 田 川		
		No. 39	八 千 代 市 勝 田 根 字 根 崎	0.564 $m^3$ /秒	勝 田 川		
		No. 39-1	八 千 代 市 勝 田 根 字 根 崎	0.111 $m^3$ /秒	勝 田 川		
勝 田 台 排 水 区	分 流 式 雨 水 管 渠	No. 61	佐 倉 市 上 志 津 原 字 幸 野	10.645 $m^3$ /秒	勝 田 川 (調 整 池)		
佐 山 排 水 区	分 流 式 雨 水 管 渠	No. 71	八 千 代 市 大 学 町 六 丁 目	2.857 $m^3$ /秒	佐 山 排 水 路 (調 整 池)		
花 輪 排 水 区	分 流 式 雨 水 管 渠	No. 66	八 千 代 市 吉 橋 字 花 輪	15.107 $m^3$ /秒	花 輪 川		
村 上 排 水 区	分 流 式 雨 水 管 渠	No. 35	八 千 代 市 村 上 女 字 下 相 女	13.149 $m^3$ /秒	相 女 排 水 路		動 作 確 認 を 1 年 に 1 回 以 上
石 神 第 1 排 水 区	分 流 式 雨 水 管 渠	No. 68	八 千 代 市 緑 が 丘 西 七 丁 目	13.085 $m^3$ /秒	石 神 川 防 災 調 節 池		
石 神 第 2 排 水 区	分 流 式 雨 水 管 渠	No. 69	八 千 代 市 緑 が 丘 西 七 丁 目	3.356 $m^3$ /秒	石 神 川 防 災 調 節 池		
石 神 第 3 排 水 区	分 流 式 雨 水 管 渠	No. 70	八 千 代 市 緑 が 丘 西 五 丁 目	4.932 $m^3$ /秒	桑 納 川		



第4表の1

変更前  
変更後

管 渠 調 査 ( 汚 水 )				
処 理 分 区 の 名 称	主要な管渠の 内のり寸法 (単位 ミリメートル)	延 長 (単位 メートル)	点検箇所の数	摘 要
江 東 処 理 分 区	⊙ 200	200		
	⊙ 250	160 -		
	⊙ 300	930 810		
	⊙ 350	350 240		
	⊙ 400	800		
	⊙ 450	680		
	⊙ 500	840		
	⊙ 600	950	1箇所	方法：マンホールからの管内目視 または管口カメラを用いる方法 頻度：5年に1回以上
	⊙ 700	510 350		
	⊙ 800	1,600		
	⊙ 900	30		
	⊙ 1000	1,120	1箇所	方法：マンホールからの管内目視 または管口カメラを用いる方法 頻度：5年に1回以上
	⊙ 1100	900		
	計	9,070 8,520	2箇所	
上 高 野 処 理 分 区	⊙ 250	80 -		
	⊙ 300	340 770		
	⊙ 350	1,150 560		
	⊙ 400	220 -		
	⊙ 450	1,760 750		
	⊙ 600	90 -		
	⊙ 700	70 90		
	計	3,710 2,170		※調査の修正（図面等の修正はなし）

変更前  
変更後

管 渠 調 査 ( 汚 水 )				
処 理 分 区 の 名 称	主要な管渠の 内のり寸法 (単位 ミリメートル)	延 長 (単位 メートル)	点検箇所の数	摘 要
北 部 処 理 分 区	⊙ 200	370 -		
	⊙ 250	320 300		
	⊙ 300	440		
	⊙ 350	590		
	⊙ 400	400		
	⊙ 450	1,200		
	⊙ 500	300		
	⊙ 600	750		
	⊙ 700	230	1箇所	方法：マンホールからの管内目視 または管口カメラを用いる方法 頻度：5年に1回以上
	計	4,600 4,210	1箇所	
萱 田 処 理 分 区	⊙ 250	730 450		
	⊙ 300	160		
	⊙ 350	710		
	⊙ 400	780		
	⊙ 450	460		
	⊙ 500	1,110		
	⊙ 600	1,050		
	⊙ 700	500		
	⊙ 800	20		
	計	5,520 5,240		
萱 田 町 処 理 分 区	⊙ 300	20		
	⊙ 350	150		
	計	170		

管 渠 調 査 ( 汚 水 )					
処 理 分 区 の 名 称	主 要 な 管 渠 の 内 の り 寸 法 (単 位 ミ リ メ ー ト ル)	延 長 (単 位 メ ー ト ル)	点 検 箇 所 の 数	摘 要	
八 千 代 処 理 分 区	⊙ 250	500			
	⊙ 300	990			
	⊙ 350	1,850			
	⊙ 400	1,160	1箇所	方法：マンホールからの管内目視 または管口カメラを用いる方法 頻度：5年に1回以上	
	⊙ 450	1,430	1箇所	方法：マンホールからの管内目視 または管口カメラを用いる方法 頻度：5年に1回以上	
	⊙ 500	1,280			
	⊙ 600	540			
	⊙ 700	990			
	⊙ 800	1,580			
	⊙ 900	1,140			
	⊙ 1000	60			
	計		11,520	2箇所	
	吉 橋 処 理 分 区	⊙ 200	680		
⊙ 250		700			
⊙ 300		120			
⊙ 350		40			
⊙ 450		250			
⊙ 500		20			
⊙ 600		2,040			
⊙ 700		1,040			
計			4,890		

変更前  
変更後

管 渠 調 査 ( 汚 水 )				
処 理 分 区 の 名 称	主要な管渠の 内のり寸法 (単位 ミリメートル)	延 長 (単位 メートル)	点検箇所の数	摘 要
石 神 処 理 分 区	⊙ 300	510		
	⊙ 350	500		
	⊙ 400	490		
	⊙ 450	320		
	⊙ 500	270		
	⊙ 600	1,200		
	計	3,290		
佐 山 処 理 分 区	⊙ 250	110 -		
	⊙ 300	180		
	⊙ 500	1,650		
	計	1,940 1,830		
合 計		44,710 41,840	5箇所	

第4表の2

変更前  
変更後

管 渠 調 査 ( 雨 水 )				
排 水 区 の 名 称	主要な管渠の内のり寸法 (単位 ミリメートル)	延 長 (単位 メートル)	摘 要	
八 千 代 排 水 区	○ 1000	410		
	○ 1650	290		
	○ 1800	320		
	○ 2600	880		
	㌞ 3250 × 2100	910		
	㌞ 3250 × 2600	10		
	㌞ 3250 × 2700	110		
	㌞ 3280 × 2100	410		
	㌞ 3700 × 4300	180		
	㌞ 3750 × 2200	90		
	㌞ 4200 × 4269	140		
	㌞ 1500 × 1500	880		
	㌞ 2100 × 2100	370		
	㌞ 2200 × 2200	100		
	㌞ 2300 × 2300	290		
	㌞ 2400 × 2400	230		
	㌞ 2500 × 1800	280		
	㌞ 2500 × 2500	100		
	㌞ 2900 × 2900	70		
	㌞ 4600 × 2300	250		
	㌞ 4500 2200 × 2700	450		
	㌞ 5100 2200 × 2400	390		
	㌞ 5400 2200 × 2900	850		
	㌞ 6000 2100 × 3430	320		
	㌞ 5230 2100 × 3130	450		
	㌞ 6060 2850 × 3210	400		
	㌞ 5500 4000 × 3250	320		
	㌞ 5660 4000 × 3700	160		
	㌞ 5670 4000 × 3800	280		
	㌞ 5670 4000 × 4016	120		
	㌞ 5000 1700 × 4300	200		
	㌞ 5400 1800 × 4300	220		
	㌞ 6530 4830 × 4000	590		
	㌞ 7400 4930 × 4968	30		
		計	11,100	

変更前  
変更後

管 渠 調 書 ( 雨 水 )			
排 水 区 の 名 称	主要な管渠の内のり寸法 (単位 ミリメートル)	延 長 (単位 メートル)	摘 要
萱 田 南 第 1 排 水 区	⊙ 1350	320	
	⊙ 1500	110	
	計	430	
萱 田 南 第 2 排 水 区	⊔ 1000 × 1000	360	
	計	360	
萱 田 南 第 3 排 水 区	⊙ 1200	180	
	⊙ 1350	260	
	計	440	
萱 田 排 水 区	⊙ 1200	150	
	⊙ 1350	80	
	⊙ 1650	380	
	⊙ 1800	180	
	⊔ 1800 × 1800	200	
	計	990	
須 久 茂 排 水 区	⊔ 1400 × 1400	120	
	⊔ 1500 × 1500	200	
	⊔ 1800 × 1800	480	
	⊔ 2000 × 2000	450	
	⊔ 2100 × 2000	150	
	⊔ 2500 × 2500	340	
	⊔ 2700 × 2700	230	
	⊔ 2900 × 2700	280	
	⊔ 3100 × 2700	230	
	⊔ 3800 × 2700	10	
	⊔ 3800 2500 × 2700	570	
	計	3,060	
黒 沢 排 水 区	⊙ 1350	240	
	⊙ 1800	260	
	⊙ 2000	200	
	⊔ 1900 × 1900	410	
	⊔ 2000 × 2000	250	
	⊔ 2800 × 2800	20	
	⊔ 2900 × 2000	210	
	計	1,590	

変更前  
変更後

管 渠 調 書 ( 雨 水 )			
排 水 区 の 名 称	主要な管渠の内のり寸法 (単位 ミリメートル)	延 長 (単位 メートル)	摘 要
米 本 排 水 区	⊙ 1500	280	
	⊙ 1650	20	
	⊙ 1800	140	
	⊙ 2000	130	
	⊙ 2200	380	
	⊙ 2400	320	
	計	1,270	
勝 田 台 排 水 区	⊙ 1350	250	
	⊙ 1500	140	
	⊙ 1650	150	
	□ 1800 × 1800	220	
	□ 1950 × 1950	550	
	□ 2100 × 2100	490	
	計	1,800	
佐 山 排 水 区	⊙ 1500	70	
	計	70	
花 輪 排 水 区	⊙ 1200	150	
	⊙ 1350	160	
	⊙ 1500	70	
	⊙ 1650	240	
	⊙ 1800	1,030	
	⊙ 2200	170	
	⊐ 3000 × 1800	620	
	⊐ 3500 × 1600	450	
	⊐ 4500 × 1450	20	
	⊐ 2000 × 2000	100	
	⊐ 2000 × 2300	10	
	計	3,020	
	村 上 排 水 区	⊙ 1350	160
⊙ 1500		260	
⊙ 1800		220	
⊙ 2200		130	
⊐ 2000 × 3500		80	
⊐ 2800 × 2500		140	
計		990	

変更前  
変更後

管 渠 調 書 ( 雨 水 )			
排 水 区 の 名 称	主要な管渠の内のり寸法 (単位 ミリメートル)	延 長 (単位 メートル)	摘 要
石 神 第 1 排 水 区	⊙ 1500	50	
	⊙ 1650	130	
	⊙ 1800	270	
	⊙ 2000	530	
	⊙ 2200	260	
	⊙ 2600	170	
	□ 2300 × 2300	260	
	□ 2500 × 2500	170	
	計	1,840	
石 神 第 2 排 水 区	⊙ 1650	200	
	□ 1700	30	
	計	230	
石 神 第 3 排 水 区	⊙ 2000	60	
	□ 2000 × 2000	10	
	計	70	
保 品 排 水 区	⊙ 1800	450	
	⊙ 2000	350	
	⊙ 2200	20	
	計	820	
合 計		28,080	



第5表

変更前  
変更後

処 理 施 設 調 書								
終末処理場等の位置	位置	敷地面積 (単位ヘクタール)	計画放流水質	処理方法	処理能力		計画処理人口	摘要
					晴天日最大 (単位立方メートル)	雨天日最大 (単位立方メートル)		
—	—	—	—	—	—	—	—	—
終末処理場等の敷地内の主要な施設								
終末処理場等の名称	主要な施設の名称	個数	構造	能力	摘要			
—	—	—	—	—	—			

第6表

変更前  
変更後

ポンプ施設調査書						
ポンプ施設の名 称	排水区又は処理分区の名称	ポンプ施設の位置	敷地面積 (単位 ヘクタール)	1 分 間 の 揚 水 量 (単位 立方メートル)		摘 要
				晴天時最大	雨天時最大	
村上第2汚水中継ポンプ場	江東処理分区	八千代市 村上南三丁目	0.25	10.0	10.0	
				9.5	9.5	
北部汚水中継ポンプ場	北部処理分区	八千代市 米本戸 字 亀 井 戸	0.18	2.7	2.7	
				2.5	2.5	

ポンプ施設の敷地内の主要な施設					
ポンプ施設の名 称	主要な施設の名 称	数	構 造	能 力	摘 要
村上第2汚水中継ポンプ場	沈砂池	2池	鉄筋コンクリート造り	水面積負荷 約1,800m <sup>3</sup> /m <sup>2</sup> ・日	内1池予備 (2/2)
	ポンプ施設	2台	槽外形水中ポンプ	揚水量 12.1m <sup>3</sup> /分/台	内1台予備 (2/2)
	電気機械室	1式			
	建築物	1式	鉄筋コンクリート造り		耐震補強
北部汚水中継ポンプ場	沈砂池	1池	鉄筋コンクリート造り	水面積負荷 約1,800m <sup>3</sup> /m <sup>2</sup> ・日	予備なし (1/1)
	ポンプ施設	2台	着脱式水中汚水ポンプ	揚水量 6.9m <sup>3</sup> /分/台	内1台予備 (2/2)
	電気機械室	1式			
	建築物	1式	鉄筋コンクリート造り		

第7表

変更前  
変更後

貯留施設調査書				
排水区の名称	主要な貯留施設の名称	主要な貯留施設の位置	貯留能力 (単位 立方メートル)	摘要
八千代排水区	大和田南 雨水調整施設	八千代市大和田628	15,500	下水道浸水被害軽減総合計画における対策施設

## 8. 施設の設置及び機能の維持に関する中長期的な方針

### 8.1 施設の設置に関する方針（様式1）

主要な施策	指標等	整備水準			事業の重点化・効率化の方針	中期目標を達成するための主要な事業	備考
		現在 (令和15年度末)	中期目標 (令和13年度末)	長期目標			
汚水処理	下水道処理人口普及率	92.6%	93.4%	95.8%	令和4年度に見直しした八千代市汚水適正処理構想に基づく汚水処理の10年概成を目標とし、市街化区域内の下水道未整備箇所における整備を進めていく。	汚水管渠整備事業	
	都市浸水対策達成率	46.71% (1,203.28ha)	46.71% (1,203.28ha)	100% (2,576.34ha)	浸水被害リスクの高い箇所を優先的に整備する。	雨水管渠整備事業	
浸水対策	整備目標 50mm/hr (一般地区)	100% (69,66ha)	100% (69,66ha)	100% (69,66ha)	浸水被害が多発している区域を対象に、下水道浸水被害軽減総合計画に基づき、既往最大降雨(61.5mm/hr)に対して、ハード対策とソフト対策を組み合わせて、床上浸水被害の防止を図る。	下水道浸水被害軽減総合事業	※
	災害時における機能確保率	86.60%	86.60%	100%	自家発電機に使用する燃料備蓄と自家発電燃料の優先的調達等に関する契約に基づき燃料確保により、災害時に必要な下水道の機能を確保する。	-	
雨水化	処理場	揚水機能が確保された施設数	-	-	-	-	雨水化対策施設がないため、未策定
		沈殿機能が確保された水処理系列数	-	-	-	-	
	ポンプ場(汚水)	汚泥処理機能が確保された施設数	-	-	-	-	
		揚水機能が確保された施設数	-	-	-	-	
ポンプ場(雨水)	揚水機能が確保された施設数	-	-	-	-		

※重点地区の都市汚水対策達成率は、下水道浸水被害軽減総合計画に位置付けた野間偏設のみのものであり、調整施設への流入区域(69,66ha)の管渠整備を含めたものではない。当該野間偏設の整備が完了した後に、整備目標50mm/hrの面的整備を実施することとしている。

## 8.2 施設の機能の維持に関する方針（様式2）

### 8.2.1 主要な施設に係る主な措置

#### (1) 劣化・損傷を把握するための点検・調査の計画

主要な施設	点検・調査の頻度
管渠施設	施設の重要度に応じて、5～15年に1回の頻度で点検を実施。点検で異常を確認した場合は、調査を実施。
汚水・雨水ポンプ施設	ポンプ場施設は5～10年に1回の頻度で健全度を把握するための点検・調査を実施。なお、マンホールポンプについては7年に1回の頻度で健全度を把握するための調査を実施。
水処理施設	—
汚泥処理施設	—

#### (2) 診断結果を踏まえた修繕・改築の判断基準

主要な施設	修繕・改築の判断基準
管渠施設	緊急度Ⅰ・Ⅱで改築を実施。
汚水・雨水ポンプ施設	健全度2以下で改築を実施。
水処理施設	—
汚泥処理施設	—

(3) 改築事業の概要

主要な施設	改築事業の概要
管渠施設	八千代市公共下水道ストックマネジメント計画策定業務委託にて令和7年度見直し予定
汚水・雨水ポンプ施設	八千代市公共下水道ストックマネジメント計画策定業務委託にて令和7年度見直し予定
水処理施設	—
汚泥処理施設	—

8.2.2 施設の長期的な改築の需要見通し

改築の需要見通し (年当りの概ねの事業規模の試算)	試算年次	試算の前提条件
年当たり概ね9.2億円	概ね100年	管渠施設：緊急度ⅠとⅡを改築 ポンプ施設（機械・電気設備）：緊急度ⅠとⅡを改築 ポンプ施設（土木・建築設備）：目標耐用年数で改築

## 9. 毎会計年度の工事費の予定額及びその予定財源

### 9.1 下水道事業に関する財政計画書

変更前  
変更後

(単位：千円)

年次	イ 経費の部										合計
	建設改良費					計	うち 用地費	起債元利 償還費	維持 管理費	その他	
	管渠	ポンプ場	処理場	計	うち 用地費						
昭和47年	60,986,020	4,020,768	5,692,288	70,699,076	941,187	41,538,735	51,980,779	7,433,334	171,651,924		
～令和5年	58,940,550	3,976,001	5,764,904	68,681,455	930,369	41,492,785	51,717,447	7,404,776	169,296,463		
令和6年	521,348	13,101	78,769	613,218	0	572,255	1,955,088	78,237	3,218,798		
	758,856	74,734	123,760	957,350	0	572,516	1,975,717	66,382	3,571,965		
令和7年	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	559,638	23,293	105,403	688,334	0	540,331	2,008,416	51,459	3,288,540		
令和8年	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	427,402	54,406	105,403	587,211	0	516,853	2,046,530	65,991	3,216,585		
令和9年	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	443,429	78,850	105,403	627,682	0	503,536	2,080,963	57,351	3,269,532		
令和10年	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	468,838	78,850	105,403	653,091	0	459,232	2,008,084	49,596	3,170,003		
令和11年	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	291,437	85,519	105,403	482,359	0	459,232	2,004,483	64,595	3,010,669		
令和12年	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	291,437	85,519	105,403	482,359	0	459,232	2,004,483	64,595	3,010,669		
令和13年	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	291,437	85,519	105,403	482,359	0	459,232	2,004,483	64,595	3,010,669		
合計	61,507,368	4,033,869	5,771,057	71,312,294	941,187	42,110,990	53,935,867	7,511,571	174,870,722		
	62,473,024	4,542,691	6,626,485	73,642,200	930,369	45,462,949	67,850,606	7,889,340	194,845,095		

記載要領

1.「流域関連公共下水道は、「建設改良費」の欄に建設負担金、「維持管理費」の欄に管理運営負担金を含む。

2.「起債元利償還費」の欄には、企業債取扱諸費を含む。

変更前  
変更後

(単位：千円)

年次	建設改良費					維持管理費及び起債元利償還費					合計
	国費	起債	他会計 繰入金	受益者 負担金	その他	計	下水道 使用料 ※	他会計 繰入金	その他	計	
昭和47年	15,414,121	26,568,500	10,723,088	1,206,375	16,786,992	70,699,076	61,713,621	25,363,428	13,875,799	100,952,848	171,651,924
～令和5年	14,610,232	24,796,700	11,239,266	1,225,557	16,809,701	68,681,456	61,411,112	25,205,891	13,998,004	100,615,007	169,296,463
令和6年	41,334	183,000	99,685	9	289,190	613,218	1,744,982	382,964	477,634	2,605,580	3,218,798
令和7年	28,770	456,000	112,261	140	360,179	957,350	1,657,667	433,518	523,430	2,614,615	3,571,965
令和8年	-	0	414,500	50,786	222,908	688,334	1,717,930	381,051	501,225	2,600,206	3,288,540
令和9年	65,000	142,600	97,834	122	281,655	587,211	1,751,719	397,573	480,082	2,629,374	3,216,585
令和10年	76,901	140,200	107,429	0	303,152	627,682	1,781,767	390,839	469,244	2,641,850	3,269,532
令和11年	79,638	154,000	85,731	0	333,722	653,091	1,706,416	376,246	434,250	2,516,912	3,170,003
令和12年	77,844	27,700	87,061	0	289,754	482,359	1,702,791	375,722	449,797	2,528,310	3,010,669
令和13年	77,844	27,700	87,061	0	289,754	482,359	1,702,791	375,722	449,797	2,528,310	3,010,669
合計	15,455,455	26,751,500	10,822,773	1,206,384	17,076,182	71,312,294	63,458,603	25,746,392	14,353,433	103,558,428	174,870,722
15,094,073	26,187,100	11,954,490	1,225,959	19,180,579	73,642,201	75,134,984	28,312,284	17,755,626	121,202,894	194,845,095	
接続率：99.3% (令和5年度未実績値) → 99.4% (令和13年度：最終年度)											
講じる対策： <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員による未接続世帯を対象とした個別訪問を行い、下水道への接続促進のため啓発活動を実施。</li> </ul>											
有収率：84.1% (令和5年度未実績値) → 84.9% (令和13年度：最終年度)											
講じる対策 <ul style="list-style-type: none"> <li>・打音調査にて接続の確認を行い、不明水流入の有無等の調査を行う。また、調査により判明した管渠の誤接続については工事を行う。加えて、老朽化した鉄蓋の入替や流入防止の為にシール貼りを行う等により不明水流入の抑制を行う。</li> </ul>											
その他の講じる対策 <ul style="list-style-type: none"> <li>・満納者訪問について、夜間・休日訪問を併せて実施することで徴収率の向上に努める。</li> </ul>											

記載要領

1. 「建設改良費」の「その他」の欄には、工事費負担金、都道府県補助金等を記載する。なお、流域下水道は、建設費負担金を含んで記載する。
2. 「維持管理費及び起債元利償還費」の「その他」の欄には、都道府県補助金、構立金取り崩し額等を記載する。なお、流域下水道は管理運営負担金を含んで記載する。
3. 下水道使用料については、最近の有収水量の動向、国立社会保険・人口問題研究所等による人口・世帯数の見直し、企業立地の見直し等を踏まえた上で算定すること。
4. 「下水道使用料※関連事項」の講じる対策の記載にあたっては、「下水道経営改善ガイドライン（平成26年6月、国土交通省・（公社）日本下水道協会）」等も必要に応じて参照すること。
5. 「下水道使用料※関連事項」の「その他の講じる対策」欄には、例えば、下水道使用料の見直し検討や徴収対策の取組について記載する。